



HCD研究発表会における 実践論文発表ガイド

実践論文カテゴリで
発表をご希望の皆様へ

HCD-Net 研究事業部
飯尾 淳

実践論文の目的

- 企業や団体，グループ，個人などでの取り組みに関する情報の「気軽な」共有を目的
 - 予稿は1ページからでもOK！
 - 一般的な研究発表に求められる新規性，妥当性（有用性），信頼性は，あまり気を使う必要なし
 - 当然ですが，あるに越したことはありません
 - でも……予稿や発表資料の「形式」は守ってくださいね🙏
 - 情報共有の習慣を守って，円滑に！
 - 効果的に伝える，皆さんのためでもあります！

予稿とは

- 発表内容を簡単にまとめた論文のこと
 - 事前に「予稿集」が配られます
 - 予稿集を作るために、事前に原稿を提出
- 体裁（フォーマット）が定められています
 - 原稿のガイドラインに従ってください
 - ここで説明することは、ガイドラインにも要約が記載されています
 - 原稿フォーマットに従って自分の文章を書いていけば、きちんとした原稿が出来上がります

予稿に盛り込むべき内容

- 効果的に情報を共有するために、最低限、予稿に書いてほしいこと
 - 実践の背景
 - 共有したい実践内容の背景を説明してください
 - どんな状況？どんな課題？目的は？など
 - 実践の概要
 - どんな手順？規模や体制は？工夫した点は？
 - 定性的に加えて定量的な内容も……
 - 実践の効果や新たな課題
 - 実践の結果，どうなった？
成功や失敗の原因は？新たな課題が出てきた？それは何？

研究会，発表時の注意事項（1）

- 円滑な会の運営に協力してほしいこと
 - 発表時間の厳守
 - 一人あたり発表15分，質疑応答4分，交代1分の20分で予定が組まれています
 - 予稿に示した内容の発表を
 - 原則として，予稿で説明した内容を口頭でも説明してください
 - ただし，予稿提出後に新たに明らかになったことなどの追加は問題ありません

研究会，発表時の注意事項（2）

- 円滑な会の運営に協力してほしいこと
 - 営業行為の禁止
 - 研究会は情報共有の場です。営業行為およびそれに類することはしないでね
 - 著作権に配慮を
 - 予稿だけでなく，発表に用いるスライドにも著作権侵害をしないように気をつけましょう

まとめ

- 実践論文カテゴリの位置付けを述べました
- 予稿執筆に関する注意事項を説明しました
- 発表方法や発表資料の作成方法について解説しました
- 不安な方は、事務局にご相談ください
 - 論文執筆や研究発表に関するメンタリングサービスを提供しています